

平和・自立・共生 ともにつくる黄金南風の平和郷・はえばる

はえばる議会だより

平成28年
9月定例会

NO. **195**

平成28年11月18日発行

伝説から生まれた
ニューヒーロー

ヒュート

飛勇人!

ハロウィンは
ヒュートに変身!
仮装でそのまま
登園だ~!!



ヒュート

平成27年度決算認定.....	2
賛否分かれる.....	5
こども医療費現物給付を要請.....	6
議長の南米視察報告書.....	10
13人の議員が一般質問	11

写真: 赤嶺 マキさん(宮平)

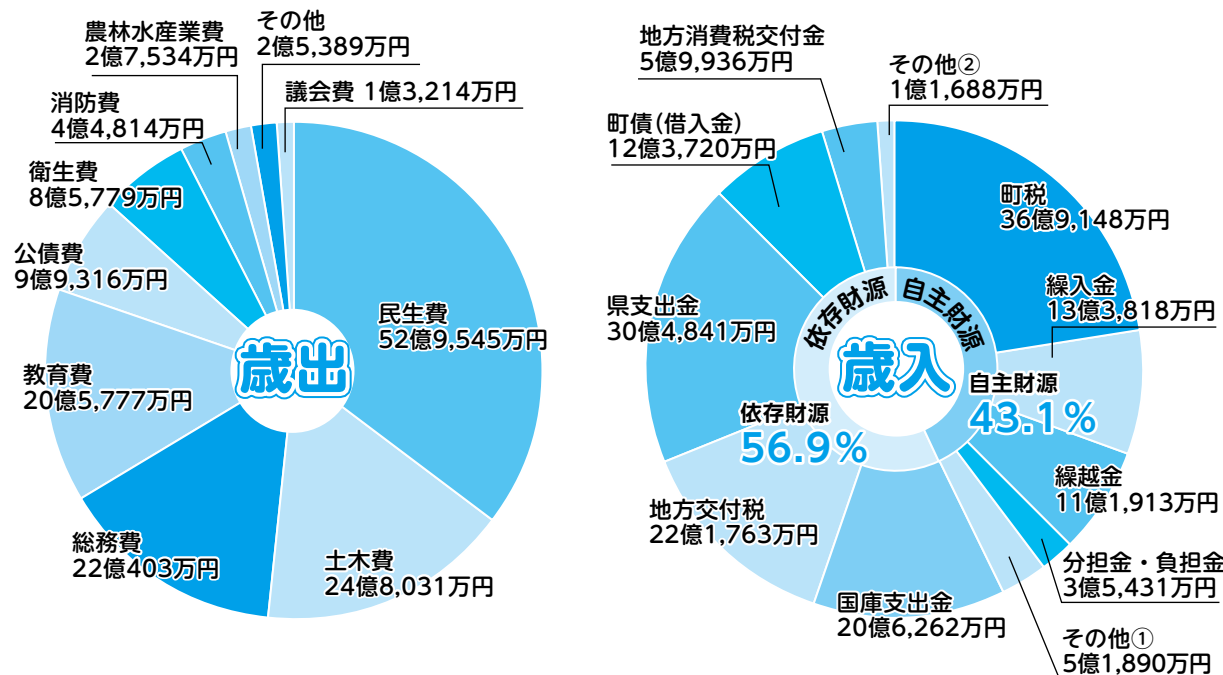
題字: 金城 愛花さん
(翔南小学校6年生)

特別会計を含み歳出総額236億2,526万円

平成27年度 一般会計歳出149億9,802万円

決算 黒字決算も国保

の赤字(約11億)に課題



■歳出 149億9,802万円 ■歳入 163億409万円

一般会計決算は、歳入163億409万円で26年度より8%増、歳出は149億980万円で15.8%の増となりました。歳入は自主財源は対前年度比10.7%増となり、昨年に続き国民健康保険特別会計の赤字を補填するため基金(貯金)の取り崩し等により1億1,133万円(8.2%)増額の繰入金があったことが挙げられます。自主財源の大部分を占める町税は8890万円(2.5%)増額しています。依存財源は対前年比11億5674万円の増となりました。認可保育園の増や、町内消費喚起プレミアム商品券発行事業補助金等により国庫支出金が2億4874万円(13.7%)増額となっています。

■歳出：4歳児受け入れのため幼稚園園舎新増築や、津嘉山中央線街路事業等により普通建設事業が7億5941万円(37.2%)増額となっています。

普通建設事業 7億5941万円増額

用語の説明

歳入	町税	みなさまからの税金
	繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
	国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
	地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
	町債	町の借金
歳出	民生費	お年寄りや児童福祉、保育所運営
	土木費	道路や河川、公園の整備
	総務費	職員人事や役場全体の管理
	教育費	幼稚園・小中学校教育や生涯学習
	公債費	借金(町債)の返済
	衛生費	ごみ処理や予防接種

9月定例会

9月14日～10月7日までの24日間の会期で開きました。平成27年度決算を中心に、今後の行政運営に生かすよう意見を付け、6会計すべてを認定しました。また、すべての議案を可決し、一般質問は13人の議員が質問しました。

意見を付け認定

〔一般会計〕

学童クラブへ制度の周知徹底を

学童クラブへ交付した補助金に返還があった。原因として、補助対象要件を満たしていなかったことが挙げられる。補助金返還が生じることがないよう、制度等の周知徹底に努めること。

北丘小西側避難通路に防犯カメラ設置を

北丘小学校西側避難通路は、災害避難時の緊急避難通路としても利用される。一般の人が利用することも想定したうえで整備すること。不審者対策の観点からも防犯カメラの設置なども併せて検討すること。

〔土地区画整理事業特別会計〕

県道128号線の移管は早急に協議を

津嘉山北土地区画整理区域内の県道128号線に係る町道移管について、県と早急に協議し、事業に遅れがないようにすること。

平成27年度 一般会計 町民1人あたり約40万円使いました。

[平成28年3月31日現在人口 3万7,356人]

■主な項目ごとの内訳は…

民生費 14万1,756円 (13万1,855円)	土木費 6万6,397円 (5万2,106円)	総務費 5万9,001円 (3万3,566円)	教育費 5万5,085円 (4万8,525円)
公債費 2万6,586円 (2万7,791円)	衛生費 2万2,963円 (2万1,628円)	消防費 1万1,996円 (1万1,551円)	農林水産費 7,371円 (1万2,476円)

()は前年度の金額です。

各会計別の決算

会 計	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一般会計	163億409万円	149億9,802万円	13億607万円
特別会計	国民健康保険	61億7,547万円	△11億5,738万円
	後期高齢者医療	2億3,745万円	72万円
	下水道事業	7億7,889万円	810万円
	土地区画整理事業	14億1,562万円	4,108万円
	農業集落排水事業	2,052万円	71万円
	小計	86億2,724万円	△11億677万円
全会計 合計	238億2,456万円	236億2,526万円	1億9,930万円

下水道事業

下水道使用料の徴収を南部水道企業団に委託しています。
徴収率99% (前年比0.6%増)

国民健康保険

8年連続の赤字決算です。
平成27年度は11億5,738万円の赤字となりました。

後期高齢者医療

平成20年度から始まり被保険者(75歳以上)は年々増えています。
平成20年 1,972人
平成27年 2,692人

ひとこと特別会計

平成27年度決算の特徴



土地区画整理

津嘉山北土地区画整理地内は全体面積における整備率が約54%、建物補償整備率96%となりました。

農業集落排水

太希おきなわの移転により、使用料及び手数料が前年度と比較して19%減となりました。(神里区)

賛否分かれる

賛否が分かれた議案と討論があった議案についてお知らせします。
また、すべての議案の賛否は町議会のホームページで公開しています。

議 案	採決の結果	知念富信	新垣由雄	大城勝	大宜見洋文	照屋仁士	赤嶺奈津江	浦崎みゆき	花城清文	赤嶺雅和	大城毅	宮城寛諄	上原喜代子	玉城勇	金城好春	大城真孝	宮城清政
平成27年度南風原町一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 —：宮城清政議員は議長のため採決に加わりません

平成27年度一般会計歳入歳出決算

反対討論 大城毅

宮平学校線整備事業の物件移転補償費が会計検査院の検査を受けて補助対象外とされ、平成27年度に1221万円を国に返還している。

町は補償費の対象であり、不当性はないとしながら、会計検査院の指摘どおり国に返還するという矛盾した行為を行っている。

結果、国庫からの補助金の8割をのぞき、町民の負担2割306万円で完成させた補償が、全額1527万円の町民負担となっている。

この件に関し、町長の責任をなんら問うことなく支出したこの決算を認めるわけにはいかない。

主張に正当性があるというのであれば返還の必要はないはずである。返還したのであれば正当性を自ら否定したものである。

このような整合性のない説明に終始する当局の説明は全く信用できない。議会など、第三者による検証が必要であると考えます。

よって、この決算を認定することに反対する。

監査委員の意見

代表監査委員 稲福 清
議会選出監査委員 上原喜代子

審査期間

7月6日～
8月14日

意見書提出

8月18日



財政は総じて健全に運営され、町民生活に密着した施策の効果があつたことは評価される。町民の意識として財政は豊かであるというイメージがある。しかし、依存財源の比率が高く、厳しい財政運営となっている。基金を含め財政基盤強化に努めること。

〔一括交付金の効果的な事業完了を〕

一括交付金は、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了すること

〔適切な事務処理を〕

適切な事務処理を図るため、業務のチェック体制の確保や事務指導体制の充実に努めること

〔国民健康保険給付費の抑制を〕

国民健康保険特別会計は、保険給付費の抑制に努め、引き続き前期高齢者交付金制度の是正を国に強く要望すること

条例 全会一致で可決

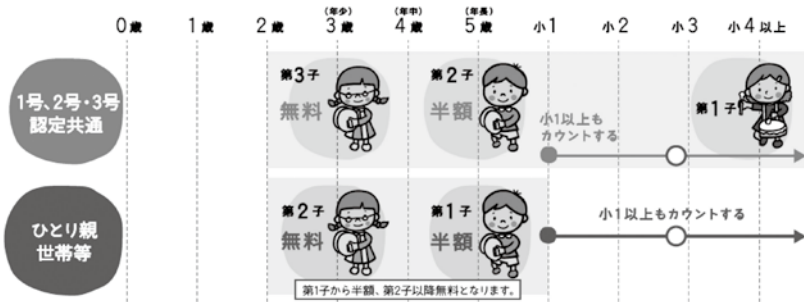
多子世帯やひとり親世帯保育園・幼稚園の保育料の軽減

『多子世帯の軽減』

年収約360万円未満相当世帯を対象に、兄弟児の年齢カウントの年齢制限をなくします。第1子の年齢に係らず、第2子を半額、第3子以降を無料とします。

『ひとり親世帯の軽減』

年収約360万円未満相当のひとり親世帯等に対しては、第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料を無料とします。



人権擁護委員会全会一致で適任

・高嶺 喜美子氏(宮平)

人権侵害による被害者の救済をしたり、人権相談や地域の皆さんの人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行います。

補正予算
全会一致で
可決
一般会計の
主な歳出

14億4543万円を追加し、
総額149億5302万円

こども医療費窓口無料化に
向けシステムを改修
事業費 281万円

現在、こども医療費助成は償還払い方式です。町は窓口無料化（現物給付）に向けシステム改修を行います。県要綱が改正された場合、早ければ平成29年1月診療分から移行できるよう取り組みます。

償還払い方式とは

医療機関窓口で自己負担分（2、3割）を支払います。後日、申請により助成される分を口座に振り込む方法です。

現物給付方式とは

医療機関窓口で自己負担分を支払わなくて済む方法です。

兼城相互団地の擁壁決壊
防止対策を求める

兼城相互団地は昭和63年に土砂崩れが発生し、土砂が住宅に流れ込む大災害が起こりました。その後も土砂が滑落する事故が起きています。

さらには擁壁に亀裂が入り、今なお進行しているように思われます。

大雨のたびに、擁壁が崩れ落ちはしないかと、住民は不安な毎日を送っています。

兼城相互団地は地すべり等防止法に基づき、沖縄県の「地すべり防止区域」に指定されています。

町民の安心・安全な生活環境を守る観点から要請します。

1. 現状を徹底調査し、結果のすべての情報を開示すること。

2. 抜本的な地すべり対策工事を講じること。

提出者 知念 富信
あて先 県知事・県議会議長

意見書決議
全会一致で
可決

南風原町の発展に必要な事柄の実現を、国や沖縄県などの関係機関に要請するため、町議会の意思を本会議で決定し、表明しました。
（意見書・決議の全文は、町ホームページに掲載しています）

子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担金減額調整措置の廃止を求める

国は地方自治体の現物給付方式の医療費助成の取り組みに対して、医療費の波及増分は実施自治体が負担すべきものとしています。国は本来負担すべき国民健康保険国庫負担金の減額調整措置を講じています。国の減額調整措置は、地方自治体による子どもの貧困対策及び少子化対策に逆行します。

すべての子どもを対象とする国による医療費助成が制度化されるまでの間、地方自治体が行う子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担金減額調整措置を廃止するよう、強く要請します。

提出者 赤嶺 奈津江
あて先 内閣総理大臣 他



知事部局で対応した土木建築部長は前向きに調査や対策を講じたいと回答。

要請

県・県議会へ10月24日要請を行いました。

歪み計などによる調査を行う。平成26年に要請のあった兼平団地のときと同じように対応したい。

回答
（土木建築部長）

子どもの医療費窓口無料化（現物給付）の実施を求める

子どもの貧困が進んでいます。医療費が後日、償還されるとしても子育て世代にとつて負担があります。経済的困難を抱えた家庭からは「受診を控える」という声も聞かれます。早期受診は病状悪化を防ぐために非常に重要です。県の施策として実施されまよう要請します。

1. 子どもの医療費助成制度を現行の償還方式だけでなく、窓口無料化方式（現物給付）ができるよう、沖縄県こども医療費助成事業補助金交付要綱を改正すること。

提出者 赤嶺 奈津江
あて先 県知事・県議会議長

交通事故防止対策と飲酒運転根絶のさらなる推進に関する宣言

南風原町議会は、飲酒運転根絶運動と交通事故防止に対する取組を一層支援するとともに、飲酒運転根絶をさらに推進することを宣言する。

協定締結

与那原警察署と「飲酒運転根絶に向けた協働行動に関する覚書」を10月17日に交わしました。「飲酒運転をしない・させない・許さない」安全で安心な社会環境の実現を図ります。



与那原署と協働行動を締結の1市2町議会

要請

県・県議会へ10月24日要請を行いました。

早くても平成30年度からの導入となる。

回答
（医療部長）



新里米吉県議会議長へ要請。県議会では陳情として取り扱うと回答。

陳情
全会一致で
採択

審査の結果、
要望の趣旨は
妥当（採択）

地元産品・企業の優先使用を
地元産品の需要拡大を図り、町内・県内企業の育成強化と雇用拡大を促進を図ること。

公共工事の際は事業用自動車（緑ナンバー）の使用を

町が公共工事を実施する際、契約書の仕様書等に「緑ナンバー使用」を明記すること。また、受注事業者に白ナンバーによる有償運送行為を排除するよう指導すること。

改正農業委員会法に係る条例対応の要請

農業委員の選出方法が議会の同意を得て、町長の任命制となる。農業委員、農地利用最適化推進委員の定数など改正基準を町条例に盛り込む際の配慮・支援を要請する。

現場調査

決算審査のため、全員で現場を調査しました。町のお金が適切に利用されたか、直接見て確認しました。

災害時等避難施設(東新川)

東新川地区の災害時・非常時に緊急避難所として活用できるよう整備されました。今後、同地区で防災訓練を行うことを確認しました。



災害時等避難施設(東新川)

学童クラブへの補助

学童クラブへの補助としては、運営費や備品、家賃、職員の賃金等に充てられていると説明がありました。また、児童が安心して過ごすことができる場となっているのか調査しました。



いこい学童クラブ(兼城)

4 幼稚園園舎の増築

4 歳児保育のため増築しました。



津嘉山幼稚園
3歳児保育に対応できるよう2階に増築が可能

黄金森公園の整備

【ゴムチップ舗装】
快適にウォーキングができるよう園路にゴムチップ舗装を行いました。

【木製園路】

黄金森陸上競技場から旧社会福祉協議会まで、木製園路を整備すると説明がありました。



↑ゴムチップ塗装

木製園路→

津嘉山北土地区画整理

整備状況を確認しました。



事業費執行率72% 整備率:54%

委員会レポート

議案をより深く審査するため、必要な書類、資料を求め、2つの所属委員会に分かれ、担当課へ質疑しました。

総務民生委員会

委員長…浦崎みゆき 副委員長…金城好春
委員…新垣由雄・大城勝・大宜見洋文
照屋仁士・赤嶺奈津江・大城毅

ふるさと納税に返礼品導入

問 ふるさと納税の返礼品はいつから実施するか。

答 ふるさと納税は故郷などの自治体に寄付することで居住地の税が軽減される。寄付に対する返礼品を早ければ12月から導入する。

問 ふるさと納税に対する返礼品は寄付額の何パーセントを予定しているか。

答 返礼品は町特産品を充てるが、内容は検討中である。寄付額の3割が返礼品代、2割が送料、1割を諸経費と考えている。

B型肝炎ワクチン定期接種に

問 10月からB型肝炎予防接種が定期接種になるが周知はどうか。

答 1歳未満の乳児が対象となる。個別通知に加え、広報誌などで周知に努める。

標準的な接種スケジュール(3回接種で費用無料)

1~2回目

生後2か月以降に27日以上の間隔をおいて2回接種

3回目

生後7~9か月の間に接種(1回目から20週間以上の間隔)

	1か月	2か月	3か月	4か月	7か月	8か月	9か月	1歳
無料で接種できる期間	1回							
1~2回目		2回						
3回目						1回		

経済教育委員会

委員長…玉城勇 副委員長…上原喜代子
委員…知念富信・花城清文・赤嶺雅和
宮城寛諄・大城真孝

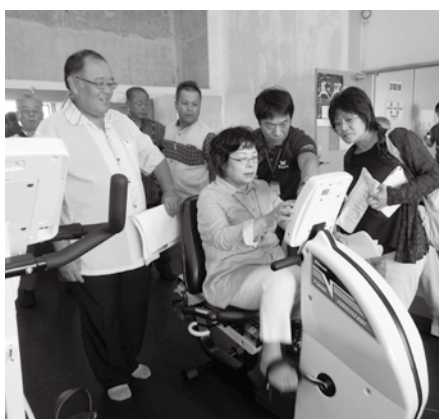
町民優先のトレーニング室に

問 黄金森陸上競技場トレーニング室は、トレーナー配置やクーラー設置の効果はどうか。

答 利用者は約5千人増加し、町内利用者の割合が多くなった。

問 町民が利用しやすい環境づくりのため、町外利用者の利用料増額や制限付き利用の調査が必要ではないか。

答 機器は25台で、時間帯等により手狭となる。利用状況等の調査を検討する。



利用料は町民2時間100円、町外300円

ヒュート町PRへの活用を

問 チームヒュートは町の歴史や文化を伝えるために誕生したヒーロー達である。はえらんや野菜の仲間たち、ヒュートと、町のキャラクターが乱立している感がある。町全体でヒュートの目的や存在意義を再確認し、役割の軸をはっきりさせるべきではないか。

答 欠員や活動の回数に課題があり、平成27年度も予定より活動が少なかった。教育や町のPRに活かすよう、活躍の幅を広げたい。



左からサメブラザーズ、アダムマー、飛勇人、ピリア姫、ユクツナ様

南米沖縄県人会創立記念式典に参加して

議会議長 宮城 清政

日程 8月26日～9月7日
訪問先 ペルー・ブラジル
旅費 96万円



沖縄県人ペルー移住 110 周年記念式典

『はじめに』

南米のペルー移住 110 周年記念式典とブラジル県人会創立 90 周年記念式典に、城間俊安町長と参加しました。初日は、ペルーのリマ空港に南風原町人会大城会長他 5 人が出迎えてくれました。その中に 2 年前の南風原町海外移住者子弟研修生の大城ルイス氏もいました。再会にたいへん感動しました。

『ペルー訪問』

翌日、日系人協会を県知事他慶祝団で訪問しました。その後、県人会主催の懇親会がありました。午後からは、沖縄県人会館大ホールにて、戦没者追悼式・仏式法要が行われました。28日には沖縄県人ペルー移住 110 周年記念式典が行われ各町村人会との交流会がありました。

『ブラジル訪問』

29日にはリマの県系企業視察があり、MIYASATO というガラス加工販売している会社に行きました。このガラス工場では、住宅用、バス用、防弾ガラス等多種多様であり、製品はペルーの全土に納めているとの事でした。

9月2日には、ブラジルのサンパウロの戦亡者慰霊碑を参拝しました。その後、サンパウロ州議会を訪問し、州知事と県系の議員と意見交換を行いました。

3日には、サンパウロの県系企業視察がありました。この会社は、建設用工具等を製作販売を行っていました。広大な敷地にとてつもなく大きな建物で驚きました。この日はブラジル沖縄県人会創立 90 周年記念式典

の前後祭が行われました。4日には、ジアデーマ沖縄文化センターにおいて、記念植樹、午後にブラジル沖縄県人会創立 90 周年記念式典が行われました。夕方には各町人会との交流会もありました。

『結びに』

今回の南米訪問で再会したルイス氏は、ペルーで週一回三味線の練習をしていると聞きました。南風原町での研修が生きている事にとても感動しました。

ペルーとブラジルでの町人会との交流会で感じたことは、2世もだいぶ少なくなっており3世、4世の方々が交流会に参加していました。今後とも人材交流の研修は必要だと実感しました。交流会では、第6回世界のウチナーンチュ大会への参加を呼びかけました。今回ブラジルからの参加が9月4日時点で970人の申し込みがあるとの報告がありました。

政策を問う！ここが聞きたい

ぶれた町長の政治姿勢を問う

花城 清文 議員

答 一貫してぶれていない

問 町長は、沖縄県町村長を代表し国へ建白書を提出した。しかし、参議院選挙において辺野古への新基地を推進する候補者を南風原町支部長となつて支援した。それに対し町民は「ぶれた」という。町長は、今後、新基地建設を推進するのか。

町長 辺野古の問題等は一貫してぶれていない。

問 選挙でいう3日戦争の7月8日から名古屋にサッカーの応援に行ったのは事実か。名古屋に行ったのは、町長が不利になるのをカモフラージュするためだという町民もいる。それはどうか。

町長 名古屋グランパスのキャンプ誘致のためであり公務である。

問 本町で4535票の大差でイハ洋一氏が圧勝した。どう思うか。

町長 大差がでたのは町民の期待の表れである。

旧陸軍病院跡に「茅葺き校舎」の建築を

問 観光資源が乏しい本町、他県からの観光客を誘致するため陸軍病院跡に茅葺きの校舎を建築してはどうか。

副町長 建築は厳しい。

東新川での里道整備を

問 東新川の町道209号線に接続している里道は、側溝からあふれた雨水で破損している。整備してはどうか。

副町長 近隣の資材置き場の車両による破損と確認している。資材置き場の管理者が補修する。



町道 209 号線

専門職員の採用を

問 沖縄自動車道から側溝は蓋かけがされていない。関係機関と協議してはどうか。

副町長 道路管理者が蓋かけは改修済みと確認した。

問 教育委員会は学校の分離新設や大規模改修が予想される。建築設計士を採用してはどうか。

副町長 経済建設部が技術協力・支援を行っている。

問 幼児教育を推進するための専門アドバイザーの配置はどうか。

教育長 教育アドバイザーの配置は今後検討する。

問 経済建設部は国、県道との調整、公園、下水道、町道等の整備で専門職員が必要である。採用はどうか。

副町長 部内での職員の配置を検討する。対応できない場合は現場技術業務委託で工事管理を行っている。

B型肝炎ワクチン 定期接種対策は

答 接種期間を平成29年7月まで
延長し対応する



浦崎みゆき 議員

問 平成28年10月から乳児へのB型肝炎ワクチンの定期接種が始まる。平成28年4月以降に生まれた子が対象となる対象である0歳児は何人か。
副町長 対象児童は450人と見込んでいる。

問 このワクチンは1歳になる前に3回接種が必要となる。3回目の接種は最初の接種から139日あける必要がある。4月に生まれた子は、最終接種までに時間がないが対策はあるか。
民生部長 平成29年7月まで延長できるように検討する。

問 B型肝炎は感染しやすい。3歳未満の90%が保菌者となり得るデータがある。保菌者になると発病のリスクを持つ1、2歳を対象とした任意の接種に助成をする考えはないか。
副町長 感染すると将来、肝硬変や肝臓がんなどリスクが高い。方法を検討する。

問 町内の小中学校の空手授業の現状はどうか。
教育長 中学校で授業に取り入れている。小学校では実施していない。

問 地域の空手家を空手の授業に活用できないか。
教育部長 必要であれば、講師派遣ができるか検討する。

問 子どもの居場所づくりの一環として、地域の公民館などを活用し、空手を広められないか。
教育長 地域から要望があれば、公民館出前講座が可能である。町内4カ所の児童館では空手教室を実施している。

問 中高年の健康づくりとして空手の公民館講座が新設できないか。
教育長 利用者からの意見等を参考に検討する。

空手普及に関して町行政はどのような思いか

答 沖縄は空手発祥地であり、継承していけるよう取り組む



大城 勝 議員

福祉避難所の体制を問う

問 電源が必要な医療機器を使用した医療ケアを行っている住民がいる。非常時用電源が必要な方や介護度の高い方などを募り個別の行動支援計画を行う考えはないか。
副町長 災害時要援護者避難計画を策定後、本人の意志を得て個別支援計画を策定する。



ちむぐぐる館での防災訓練の様子

問 避難所に非常用電源の確保を予算措置できないか。

民生部長 ちむぐぐる館には自家発電がある。最初はそこに避難する形を模索する。「ちむぐぐる館」を福祉避難所として設置することも含め検討する。

ひきこもりは専門機関の支援を

問 ひきこもりに対する意識改革で、精神保健や医療、福祉教育など専門機関の支援を必要としている当事者を支援対象と規定された。本町のひきこもりの実態を調査する計画はないか。
民生部長 実態調査は考えていない。福祉マップを作成し個別で訪問し、把握を行っている。

問 インターネットを通じた相談窓口を開設し支援できないか。
副町長 インターネット相談窓口はツールの1つとして調査・研究する。

県道82号線沿いに道路照明灯の設置を

問 県道82号線の照屋交差点から山川区向けに給油所がある。その一帯は夜間になると真っ暗闇となる。道路に照明灯の設置ができないか。
副町長 道路管理者に要請を行う。



照明灯の設置要望箇所(照屋)

町文化財の存在意義を高め有効活用を

問 観光協会の催しに南風原まち歩きツアーがある。観光行政の観点から町はどのように捉えているか。

副町長 観光として訪れる方が、本町の風景・風俗・文物を見たり体験することができ。歴史・文化を楽しんでいただく素晴らしい取り組みである。
旅券発行の手数料支払い簡略化を

問 南風原町役場で旅券発行をしている。手数料支払いを簡略化し庁舎内で収入印紙や県証紙の扱いができないか。
副町長 申請者の利便性を考慮し、庁舎内での取り扱いを検討する。

区画整理地域に愛称を

問 町民から募集して、津嘉山北土地区画整理事業地域に愛称を付けられないか。
副町長 町民から募集することについて検討する。

こんな質問もしました
○文化財の維持管理について



知念 富信 議員

地域振興資料館 整備事業を問う

答 年度内完成に向けて取り組む

問 宮平地区資料館整備事業は完了までの工程はどのような計画か。

総務部長 宮平区が実施する伝統芸能等地域振興の資料館で、町から宮平区への補助事業である。事業費は、約2億円で、国の内諾を得られたのが、平成27年12月である。昨年度設計の入札を行い年度内の完了予定が、調整に時間を要し繰り越しとなった。建築は平成28年10月に契約して、平成29年3月完成に向けて取り組んでいる。

問 平成27年度の一括交付金による市町村のソフト交付金執率が78%で、平成29年度は減額査定になるとの報道があった。達成状況の事後評価で市町村1146件のうち達成、おおむね達成で897件、繰越事業102件である。本町のソフト交付金の執行率は何か。

副町長 本町の一括交付金執

行率は78%で平成28年度への繰越事業は5事業である。観光発進施設事業、北丘小西側避難通路整備事業、地域振興資料館整備事業は年度内完了を予定している。LED外灯事業、津嘉山クサティ森保全事業はすでに完了している。

兼城区の町道173号線の整備を

問 町道173号線（兼城区旧太田病院向かい）に通信用の電柱が道路上に立っている。撤去ができないか。

副町長 所有者は県で、河川監視用カメラの電柱である。河川改修で一部撤去したが、電柱が残っている状態である。早めに撤去するように県と調整する。

問 旧太田病院前の地形が変わっているが、町は把握しているか。

副町長 旧太田病院前に花鉢

分析し、特別感を出しスーパーフードとして紹介ができないか。

教育長 食育の観点からランチョンマットは非常に効果のある事業でないかと考える。前向きに検討していきたい。

青年海外派遣事業での人材育成を

問 青年海外派遣事業は一括交付金を活用した事業で、平成25年度から平成33年度までの事業計画である。「女性の翼」のように長期的に取り組み、研修生を育てていく必要性を感じるがどうか。

教育長 町の事業としては、平成33年度までとなっている。教育委員会としては、それ以降も続けていきたいと考えている。

が置かれ通り抜けが困難になっている。排水路側の県有地を道路として活用できないか検討する。

問 側溝の横に水道管が敷設されているが、埋設すべきではないか。側溝を蓋かけにして歩道を設置できないか。

副町長 水道管は南部水道企業団の所有物である。県の専有許可を取得できれば、埋設できる可能性はある。しかし、側溝は築39年になり、近年多発するゲリラ豪雨等による既設排水路の改修が求められている。蓋かけをすると氾濫被害が想定されるため困難と考える。



埋設を要望している水道管（兼城）

問 人選はどのように行っているのか。

教育長 町広報誌で募集案内し、南風原町青年海外派遣研修生選考委員会で審査を行う。5人の委員で構成され、書類審査や個別面接を行っている。

問 研修後の報告会は実施しているか。

教育長 研修終了後には研修報告会を開催し、報告書は年度末までに発刊している。



上原喜代子 議員

長寿県復活 食の応援事業を問う

答 カレンダーの活用、ランチョンマットの作成を検討する

問 カレンダーの世帯配布が1万2000部、事業所配布が1000部と確認した。カレンダーはその月が終わると破棄をする。破棄するにはもつたない。冊子として保存版にできないか。

副町長 カレンダーを作成し配布する予定である。

副町長 カレンダーは町民に食事の基準量、食品に含まれている脂の量、脂を使わない野菜料理を伝えることを目的としている。長期的に活用できる保存版を検討する。

問 食の応援事業で学童生活習慣病予防健診及び保健指導事業がある。対象となる5年生に島やさいの栄養素を紹介したランチョンマットを作成することはできないか。島やさいを通して栄養素の高さを



10月14日に報告会がありました



宮城 寛淳 議員

介護保険制度の 改悪を許すな

答 国で現在審議中のため、経過見守る

③特養利用は、経過措置により、要介護1・2の場合でも継続入所が可能である。本町においては大きな影響はないと考えている。

- 問** 介護保険が平成27年実施の改定で改悪された。
- ① 要支援1・2の訪問・通所介護が自治体事業へ移行
 - ② 年金収入280万円以上の者の2割負担の導入
 - ③ 特養ホーム入所を要介護3以上に限定
- 本町での影響はどれほどか。

副町長 法改正後も必要な方は利用している方が多い。

- ① 町の通所型サービスに移った方は本人の希望するサービスを利用している。
- ② 2割負担になったためサービスを利用しない等の苦情・相談はない。

問 社会保険審議会で、介護保健の改悪が次のように進められようとしている。

- ① 要介護1・2の訪問介護や通所介護、福祉用具の貸与を保険適用から外す
- ② 利用料の引き上げ
- ③ 負担上限の引き上げ
- ④ 納付年齢の引き下げ（40歳から20歳へ）

このような改悪に対し抗議する

副町長 厚生労働省で現在審議中である。経過を見守っていききたい。

問 影響を受ける要支援1・2、要介護1・2の認定者はどれほどか。

副町長 影響を受ける認定者は、認定者全体の約5割となる。

山川体育センターの再整備を

問 山川体育センターは昭和62年に設置され、多くの町内外の方に利用されている。近年、

施設の痛みが激しくなっている。表土が流れたり、ネットが破れたりしている。管理棟の煉瓦が割れて飛散している。本格的な整備が必要ではないか。

教育長 改修工事や施設の改築等の計画はない。引き続き修繕費や原材料費で対応する。



山川区民による山川体育センター清掃の様子

では、起債総額は増えない。厳密に全庁的に取り組んでいく。

国際交流から国際貢献へ

問 8月26～31日、日青協第25次植林訪中へ参加した。中国内モンゴル自治区ダラトキ、河北省豊寧滿族自治県を訪れ、植林作業を行った。過去25年間の植林の歴史と成果をこの目で体感した。互いの友情はもちろん、単に砂漠化防止だけでなく、現地の意識を大きく変えた。さらなる緑化と農地の拡大、住民の定住化など経済的發展にまで貢献をしている。国際貢献は、将来に向けた人材育成、本町の観光、産品、産業の発信に大きく貢献すると考える。今後、国際貢献の研究を行ったり、参加してはどうか。

総務部長 趣旨は非常に共感できる。大きい枠組みで捉え、行政ができるものはほとんど協力する。

本町の借金比率は 201%（県内4位） どう考える

答 真摯に受け止め、将来的な計画が必要

問 平成27年度末の町債残高は177億5188万円となっている。「沖縄県町村議会議長会会報」によると、地方債＋債務負担行為＋積立金現在高の標準財政規模に占める割合で201%と県内4位の数値に驚いた。投資が多い分、借金が多いことはもちろん理解するが、町民に対し、「借金もすべてが財産」と言えるものではない。どう認識しているか。

総務部長 真摯に受け止めて、将来的な予算編成、計画が必要だと感じている。

問 財政の仕組みは複雑である。いかに町民に分かりやすく説明するかが大事だと考える。次のような表記は説明の一助になると思う。改めて『ハイさいよーさん』で示すことができるか。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
各会計合計	187億3503万円	200億4211万円	210億9586万円
町債残高	168億3658万円	175億7706万円	177億5188万円
交付税措置額	89億4060万円	91億8417万円	92億6336万円
実質の借金	78億9568万円	83億9289万円	84億8852万円
基金残高	27億3227万円	16億1485万円	13億7504万円

※過去のはいさいよーさんを参照

①各年度予算の合計 ②各会計の町債（借金）発行額の合計 ③あとの年度で国から措置される補助金 ④実際町民が負担する借金 ⑤町の各貯金の合計

問 行政需要やインフラ整備、一括交付金への対応等、町債の発行額が増えている。それでも借金は減らしていかなければならないと考える。実質借金を減らしていくことは可能か。

総務部長 プライマリーバランスを保つことで、理屈とし



照屋 仁士 議員



金城 好春 議員

宇平橋周辺の環境美化と文化財の周知を

答 不法投棄の指導で美化に努め、周知は文化財の調査が必要となる

問 山川入口バス停付近の宇平橋の近くに広場があるが町の管理地か。

副町長 県の管理地である。

問 広場内に宇平橋の石碑のレプリカと説明板が設置されている。文字が色あせて読みづらい。改善できないか。

教育長 他の文化財の案内板や標柱等も調査して対応する。

問 「宇平橋公園」と名前を付けて看板を設置できないか。

副町長 県が管理しているので、看板の設置ができないか確認した。公園ではないため看板の設置はできないと回答があった。

問 広場内に放置車両とごみが捨てられている。撤去できないか。

副町長 放置車両は撤去手続き中であり、ごみは撤去した。

問 広場近くのバス停にソファが2つ捨てられている。撤去

できないか。

副町長 ソファは撤去した。不法投棄については、随時指導を行い改善に努める。

問 国道507号と那覇空港自動車道の交差している高架橋の下には津嘉山の御願所「竜宮井」がある。その付近もごみが捨てられている。改善できないか。

副町長 南部国道事務所の管理地となっているので対応を依頼した。

津嘉山北土地地区画整理事業の進捗を問う

問 国道507号(津嘉山仲井間線)は拡幅工事も終了し、中央に白線を引こうとしている。その路線は、当初の計画どおり停車帯を設置するのか。

副町長 計画通り車道の左寄りに幅2・2メートルの停車帯を設置する。

見通しの悪い交差点の改善を

問 町道83号線と町道16号線の交差点について改善を求める。南風原高校側から十字路で一時停止すると国道507号バイパス方面から来る車が街路樹に遮られて見えない。前に進みにくいとの声がある。改善できないか。

副町長 低木を剪定し、車両が確認できるように改善した。



改善された交差点(第2団地)

教職員の職場環境改善はどうなった

答 安全衛生委員会は選定に時間を要している

問 学校教職員衛生管理規程を策定したのはいつか。

教育長 平成21年4月1日から施行している。

問 学校教職員安全衛生委員会の開催状況はどうなっているか。

教育長 平成21年度に同委員会を開催したが、その後は開催していない。

問 一度開催後開催していないのはなぜか。

教育部長 同委員会は、教育部長が委員長で、学校医と、衛生推進者に各学校から6人の委員を出す。衛生推進者の選定に時間を要し、開催できていない。

問 衛生推進者になると負担が増えるのか。

教育部長 衛生推進者は、取り組みが多くなり手がいない。

教職員の出退勤の管理は

問 タイムカードは導入されているのか。幼稚園はどうか。

教育部長 教職員は、出勤簿で勤務実態の適切な把握・管理を各学校長へ指導をしている。幼稚園は本町職員で、町の給与システムと連動が必要のため、出退勤システムによる管理をしている。

問 県内公立小中学校でタイムカードを導入している自治体はあるか。

教育部長 島尻教育事務所管内及び調査した市町村管内においてタイムカードを活用している学校はない。

学校側に印刷機の増を

問 印刷機が1台しかなく、空き時間で印刷ができず残業の一因になるとの悩みを聞いた。複数台導入は難しいか。

教育長 残業の一因との課題

はない。複数台設置は保守費用や設置スペース確保などの課題もある。学校事務員に印刷を依頼するなど、効率的な活用を含め検討する。

問 現場から要望がないと導入しづらいか。

教育部長 生徒数も考慮し増設は可能と考える。



小学校の授業風景

こんな質問もしました

- 分断される自治会課題は
- 学童クラブの子育て支援は
- 県営団地建て替えについて
- 路上の違反広告について
- 公共交通の課題について
- 農福連携について
- プレミアム商品券について



大宜見洋文 議員



大城 毅 議員

建白書堅持と島尻氏 応援は矛盾ではないか

答 町益のために先頭となって応援した

問 平成25年の沖縄建白書の実現を求める立場が変わらないか。

町長 一貫して建白書の考え方を貫いていく。

問 7月の参議院選挙で町長は当時大臣であった、島尻安伊子氏の南風原支部長として活動した。これは、建白書を堅持するという立場と矛盾することは明らかではないか。

町長 南風原町長として、辺野古の問題等においては相反するが、大多数部分は賛同する。南風原町益のためには先頭を切ることが私の務めだと思っている。

問 町は平成29年1月診療分からこども医療費の現物給付を予定している。しかし、県の交付要綱の改正が前提と答弁している。県は12月の国の審議会の結論でわれわれが思

う方向で出たとしても、平成30年度からとしている。南風原町は1月診療分から実施できるのか。

民生部長 県も方法を模索中であるという回答を得ている。補助が実現できるのではないかと期待もある。要綱改正を含めて、方策が実現できない限りわれわれはスタートできない。

問 認可保育園増設は新年度に間に合うか

問 来年度からの園児募集に向けて新設保育園の準備が進められている。今年度で準備をし、平成29年度の入園に間に合うか。

民生部長 平成29年4月1日開園を目指しているのは、山川保育園と照屋保育園の2園である。やまびこ保育園は、平成30年4月1日開園を予定している。山川と照屋の両園については、実施設計を終え、現在入札の準備を進めている。



新規認可園の設置箇所

こんな質問もしました
○琉球絃、南風原花織の振興を
○歩道のカラー舗装の整備は

当初の予定より実施設計業務に、1カ月程度多く要したため、建設工事の工期にも影響が出ると想定される。平成29年4月1日開園に向けて取り組んでいく。

待機児童の状況と ゼロの施策は

答 前倒しできる事業は積極的に取り組む



赤嶺 雅和 議員

問 待機児童の今後の状況はどうか。

副町長 9月1日現在の待機児童は233人で対前年度40人増となっている。本町の未就学児の人口は増え続けている。それに比例して保育園の入園希望児童は、今後も増える想定している。

問 待機児童ゼロを目指しての施策について進捗はどうか。

副町長 「南風原町子ども・子育て支援事業計画」に沿って新規認可園や小規模保育園の設置などを行う。さらに前倒しできる事業は積極的に取り組む。

問 新規の保育園も2カ所増えているようだが、今後の計画はどうか。

民生部長 今年度で整備を進め、196人の定員増に取り組む。次年度中での開設に向けては、新設の認可保育園を1カ所予定している。小規模保育園の

新設も公募している。予定としては年度内に2カ所の設置を計画している。

問 新規認可保育園は、来年4月の開園に間に合うのか。

民生部長 大変厳しい状況だが、最大限の努力をし4月1日の開園に向け取り組んでいる。

独自の都市計画で人口増加を

問 町独自の都市計画策定で宮城区、大名区、神里区の人口増加を目指すことができるのか。

副町長 大名区の人口は平成25年度に緩和区域が拡大されてから増加傾向にある。宮城区、神里区も、緩和区域の拡大ができるのか人口増加の施策を県と協議する。都市計画区域の再編については、引き続き議論を重ねていく必要がある。平成25年から平成26年にか

神里区の人口の推移

年 度	世 帯 数	人 口
平成25年度	339	872
平成26年度	349	882
平成27年度	316	859
平成28年度	319	836

(各年度の3月31日時点)

では若干増えている。平成26年から平成27年はガクリと落ちている。大きな要因としては、太希おきなわの移転に伴う人口減かと考えられる。平成24年から増えた要因として、緩和区域の設定により、戸建て住宅が増えたことである。緩和区域の拡大の余地はあると考える。今後は、拡大に向けて県と協議を進める。



玉城 勇 議員

すべての住宅に火災警報器の設置を

答 助成について話し合っていく

問 住宅用火災警報器の設置について、新築住宅は平成18年6月1日から設置義務がある。既存住宅は平成23年5月31日までに、すべての住宅に設置することが義務化されている。沖縄県は設置率59・3%で全国最下位であり、条例適合率は44・5%である。町内の設置率はどの程度か。

副町長 平成27年度の本町の設置率は53%、条例適合率は48%である。条例適合率とは、設置しなければならぬすべての部屋に設置状況を確認する割合である。

問 全国で火災の発生が3万9000件以上ある。それだけの発生で死亡者が1500人を超えている。けがの方も6500人を超えている。しかし、火災警報器を設置したことで助かった事例は全国各地で報告がある。ぜひに火災警報器の設置をしなければいけない状況だと思うがどうか。

町長 火災警報器は生命・財産を守るためには一番重要である。全国で設置率が1番低い県内においても東部消防管内は低い。設置率を上げるためにはどうすべきなのか、東部消防管内の3町と調整する。助成する事も検討すべきなのかも含めて全所帯に100%設置できるような取り組みを進めていきたい。そのためには、助成をどうすべきなのか補助は全額なのか、3分の2、2分の1なのか細かい調整も出てくる。東部消防管内正副管理者会があるのでその話し合いを行いたい。設置率アップのために話し合いを行う。

AEDの管理について

問 AEDは救命処置のため、いつでも使用できるように管理点検が重要である。町で設置したAEDの状況はどうなっているか。

副町長 町施設にあるAEDのパッドカートリッジやバッ



東部消防組合による救急救命講習

テリー交換等の管理・点検を行っている。その他の施設については管理者に依頼している。今後、どのような方法があるか検討する。

町立学校に早期のクーラー設置を

答 早急に実施できるよう努力していく

問 小中学校の教室の気温が30度以上、ときには33度を超える日も多々ある。早期にクーラー設置をすべきと考えるがどうか。

教育長 実施計画で平成31年度に設計委託業務を計画している。

問 真夏時の教室は、平均気温何度ぐらいになるか。最高気温何度ぐらいになっているか。計画が前倒しになることはないか。

教育部長 今年度調査をした結果、全教室で30度を超えていた。確認できている最高気温は35度である。早急に調整し実施できるよう努力する。

問 町立幼稚園について前回の留意事項で、新増築分に対してクーラー設置を検討するように付した。新増築分だけではなく、全体的に検討するべきと思うがどうか。

教育部長 幼稚園では、増築

した4歳児の教室と職員室にクーラーを設置している。5歳児の教室には入っていない。幼小中学校を調査して必要であれば整備していく。

こども医療費の現物給付の実施は

問 こども医療費の現物給付実施に向けて、今回、関係予算が組み込まれている。現在の状況等はどうなっているのか。実施時期は平成29年1月と聞いたが、実施できるのか。

副町長 県の所管課、国保連合会、県医師会などと調整を進めている。平成29年1月診療分から実施できるよう準備は進めている。実施時期は沖縄県こども医療費助成事業補助金交付要綱の改正が前提である。

南風原中体育館ピロティの整備を

問 平成26年の第2回定例会で南風原中学校体育館ピロティの整備について質問をした。前向きな答弁だったと思うが、まだ整備されていない。状況はどうなっているか。

教育長 早い段階に計画実施ができるよう取り組む。

教育部長 工事工法についても調査・研究し、早い段階で実施計画を掲げ整備できるように努める。



中学校の授業風景

○子どもの貧困対策事業の状況は

こんな質問もありました

ふるさと博覧会で 議会をPR

11月5日～6日に開催された、はえばるふるさと博覧会に議会報告会を開催しブースの出展をしました。

ブースでは、議員が議会のしくみ・役割や本会議のネット中継を紹介し、議会に関するアンケート調査を行いました。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。



議会ブースの様子

次回定例会の開催予定

12月6日(火)午前10:00

南風原町議会

検索

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・要望なども広く募集しています。

議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先：議会事務局（担当：広報係 しんじょう 新城）

TEL. 889-3097 FAX. 889-4499

E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp



▲町商工会青年部からも公募写真がありました

編集後記

11月6日に開催された第5回目の議会報告会、反応はどうだったのでしょうか。今回は「集めるのではなく、集まっている場所に自ら出向く」という姿勢で取り組みました。

私たち議会広報委員会には、今期から「広聴」の役割も盛り込まれています。ただ議会の状況を伝えるだけではなく、町民の求めを受け止める役割も担っています。議会報告会も、広報誌の編集や企画、ホームページ、議会中継など多岐に渡ります。

私たち委員もたくさんアイデアがあり、使命感もあります。なかなか時間が足りません。しかしながら目に見える形で少しでも進めます。町民の皆さんの嬉しい意見も含め、議会へお届け下す。

（担当／照屋 仁士）

町民の声



南風原町の 学力向上について

小学校6年生と中学校3年生を対象に、毎年4月に実施される「全国学力・学習状況調査」の今年の結果が南風原町広報誌「はえばる」11月号に紹介されている。

それによると、町内の小学校ではすべての教科において、全国平均や県平均を上回っているものの、中学校においては依然と

して全国平均を下回っている。特に、中学の国語B問題では県平均にも及ばない。

同調査が開始されて以来、数年前までの沖縄県は、その上の県より約8ポイントも低い「ダントツの最下位」だった。わが南風原町でも父母や学校関係者らの意識改革や取り組みが奏功したのは疑う

余地がない。

中学校での結果について「中学生は土・日や平日の部活動で体力を消耗し、帰宅後の学習環境が厳しいからではないか」と指摘する親もいる。文武両道の中から部活が重要であることに異論はないが、部活を短時間に集中することで両者とも達成できないだろうか。

与那覇
みやき
宮城 信夫さん